

組立及び施工される方へのお願い

本説明書で使われているマークには以下の意味があります。



注意

……組立てを誤った場合に、使用者が中程度の傷害、軽傷を負う危険及び物的損害の発生が想定されます。冒頭にまとめて記載していますので必ずお読み下さい。

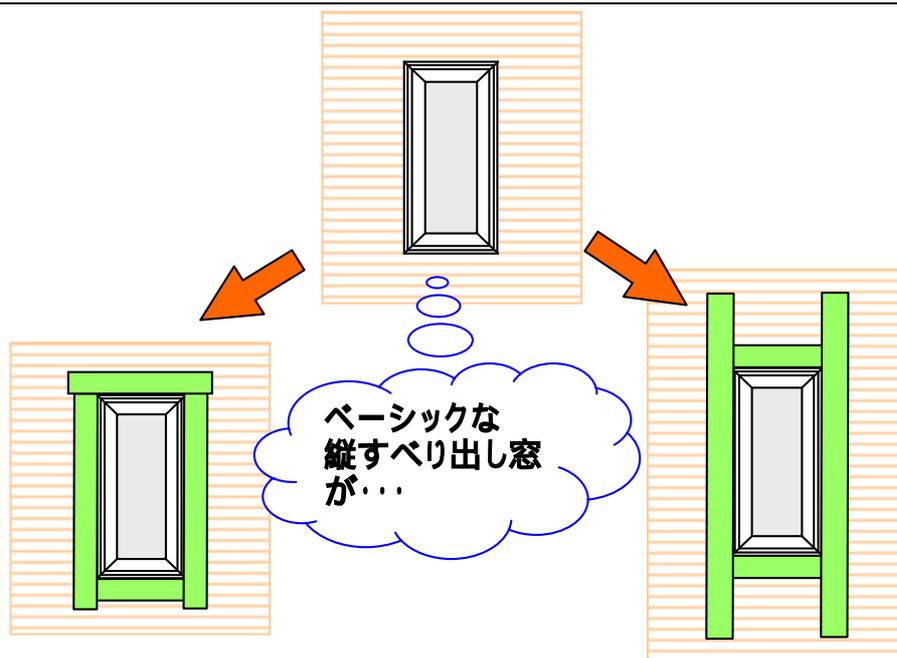


注意

本製品は施工する前に、躯体に下地材がある事を確認して下さい。
(製品の外れ、落下の原因になります。)
本製品は外壁の施工終了後、壁面に直接取り付けて下さい。
その際、下孔には必ずシーリングして下さい。
(躯体内へ雨水が進入する恐れがあります。)
サッシと外壁間は必ずシーリングしてから本製品を取り付けて下さい。
(躯体内へ雨水が進入する恐れがあります。)
取付けねじは $2.5 \pm 0.5 \text{N} \cdot \text{m}$ { $25 \pm 5 \text{kgf} \cdot \text{cm}$ } のトルクで止めた後、
緩み、がたつきのない事を確認して下さい。
本製品のラッピング形材は2500mmで0.5mm以下の収縮があります。

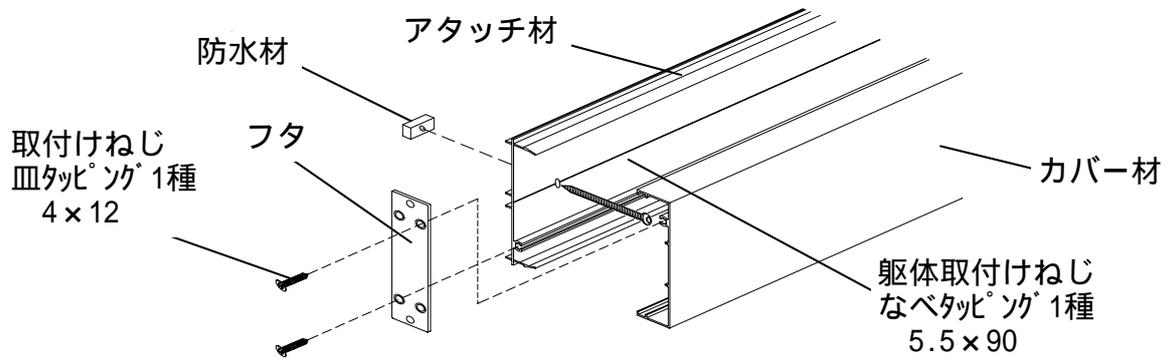
1. 商品概要

- ・窓まわりを華やかに、自由な発想でオリジナリティー溢れる外観を演出するモール材です。
- ・アクセサリ感覚でお住まいをコーディネートします。
- ・材質は耐久性、加工性に優れたアルミ製です。



2. 商品特徴

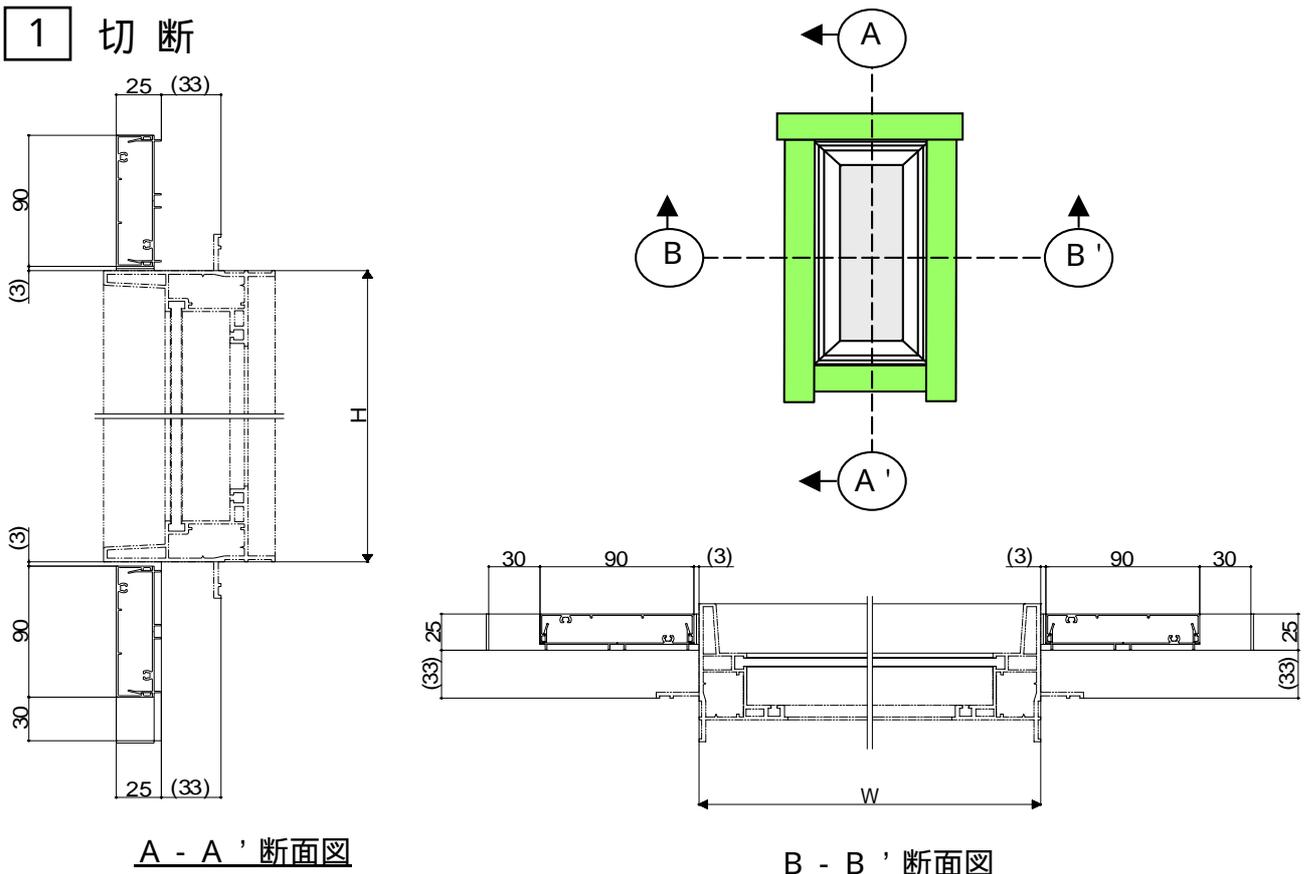
・本製品は下図の部品・部材で構成されています。



3. 切断・加工

・本書では基本的な形を例に取り、切断、加工、施工手順について説明しています。

1 切断

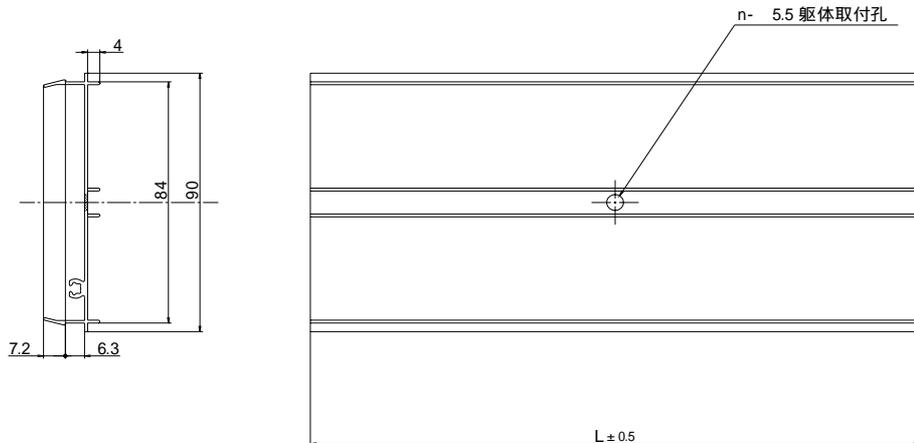


		アタッチ材	カバー材
H	縦部材	H + 124.5	H + 124.5
W	上部材	W + 246	W + 246
	下部材	W + 3	W + 3

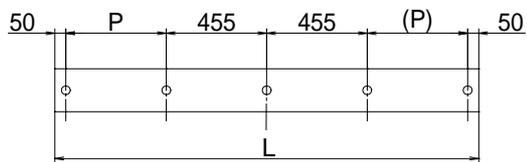
H・W=サッシ外寸法を示す。

2 加工

アタッチ材の加工 躯体取付け孔(5.5)を開けます。



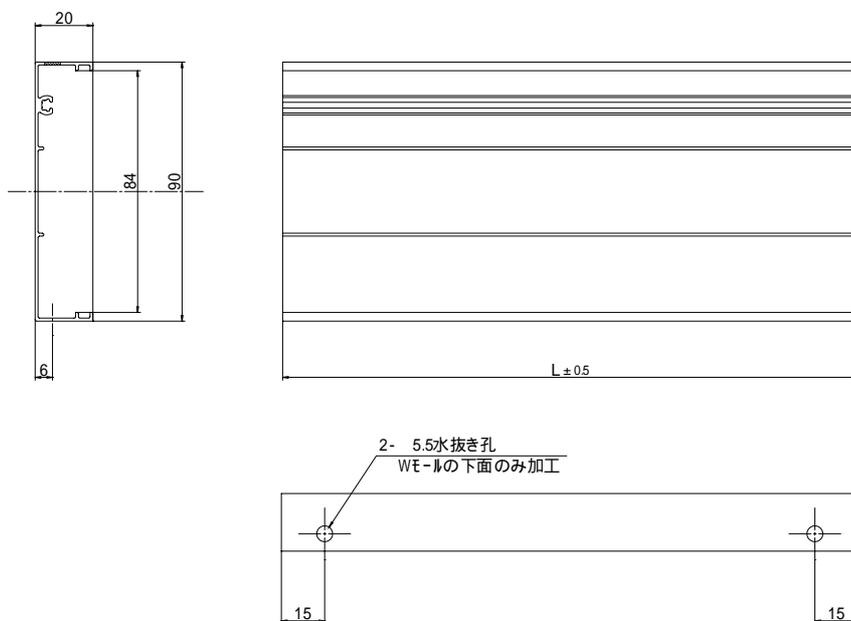
躯体取付け孔ピッチの考え方(例. 在来の場合)



$$P = (L - 455 \times n - 100) / 2 \quad \left(\begin{array}{l} P \text{ 455} \\ n \text{ は455ピッチ数} \end{array} \right)$$

躯体取付け孔は下地となる間柱等のピッチに合わせて開けて下さい。

カバー材の加工(W材の下面のみ)



W材の下面にのみ必ず水抜き穴を開けて下さい。

4. 施工

<施工手順>

アタッチ材にフタを取付ける。

アタッチ材の躯体取付け孔に合わせて、防水材を貼り付ける。

アタッチ材の躯体取付け孔に合せ、外壁に下孔を開ける。

下孔にシーリング材を注入する。

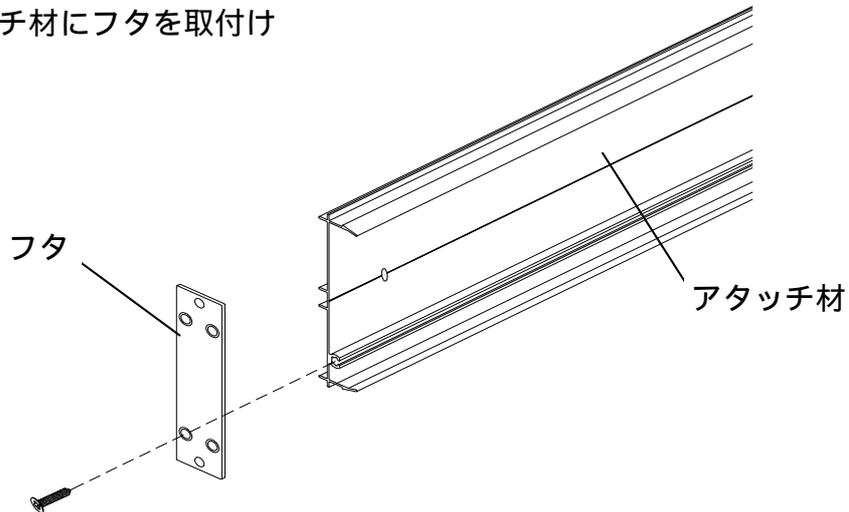
アタッチ材を躯体に取付ける。

カバー材をアタッチ材に取付ける。

カバー材とフタをねじ止めする。

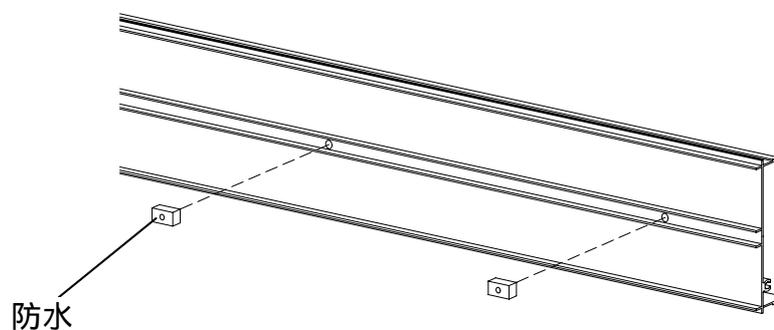
～ の繰返し

アタッチ材にフタを取付け



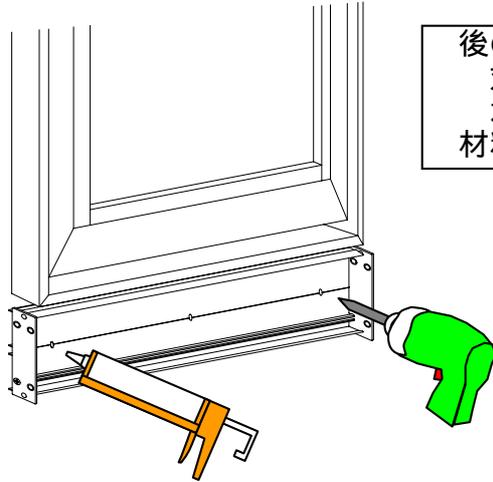
躯体取付け前にフタを取付けて下さい。
ねじ位置が外壁との距離が近い為、ねじ止めし難くなります。

アタッチ材の躯体取付け孔に合わせて、防水材を貼り付ける。



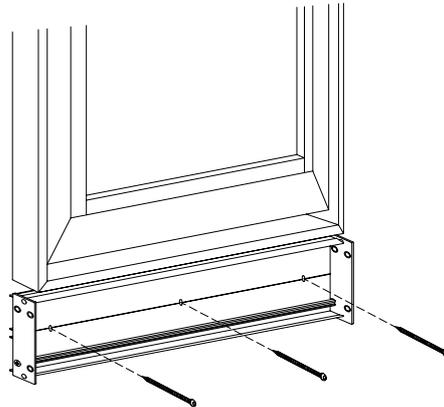
形状をわかりやすくする為、
フタを除いて描いています。

アタッチ材の躯体取付孔に合わせ、外壁に下孔を開ける。
下孔にシーリング材を注入する。

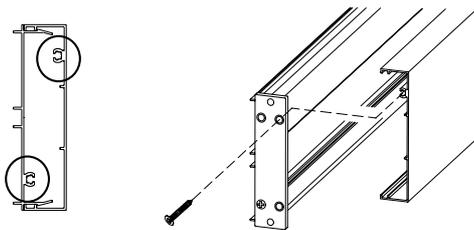


後の工程でフタとカバーをねじ止めします。
対角線上でねじ止めになるように
水抜き孔が下側に来るように
材料の向きに注意して取付けて下さい。

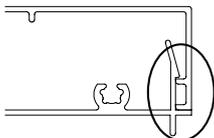
アタッチ材を躯体に取付ける。



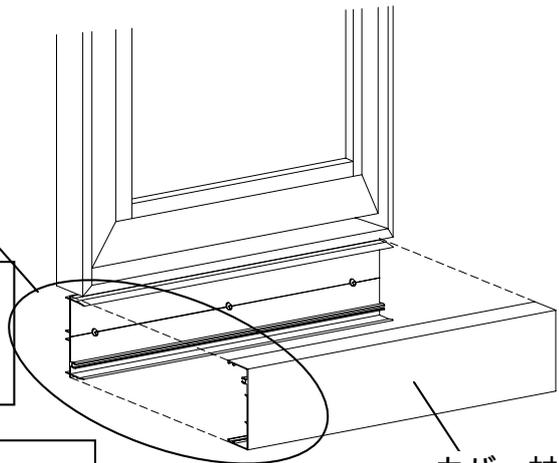
カバー材をアタッチ材に取付ける。



次の工程でフタとカバーをねじ止めします。
対角線上でねじ止めになるように
水抜き孔が下側に来るように
材料の向きに注意して取付けて下さい。



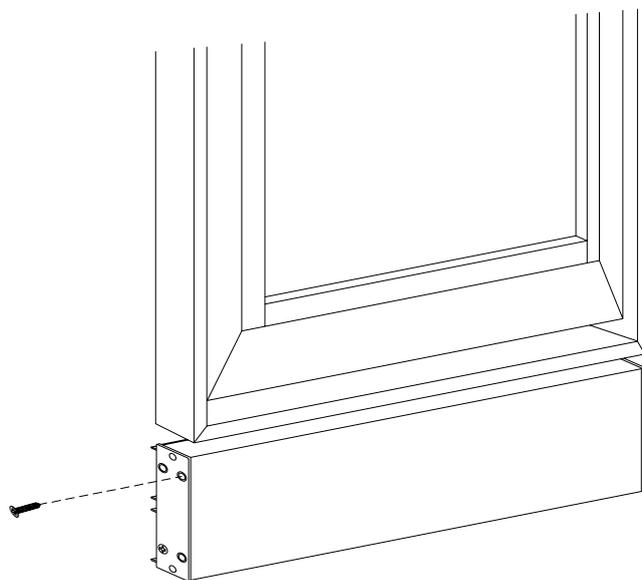
ツメが2本あります。
2本目まで、しっかりと
奥まではめ込んで下さい。



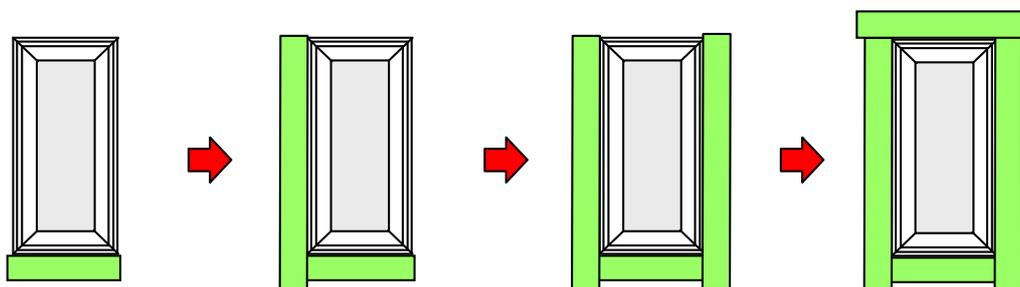
カバー材

形状をわかりやすくする為、
フタを除いて描いています。

カバー材とフタをねじ止めする。

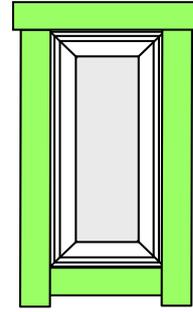
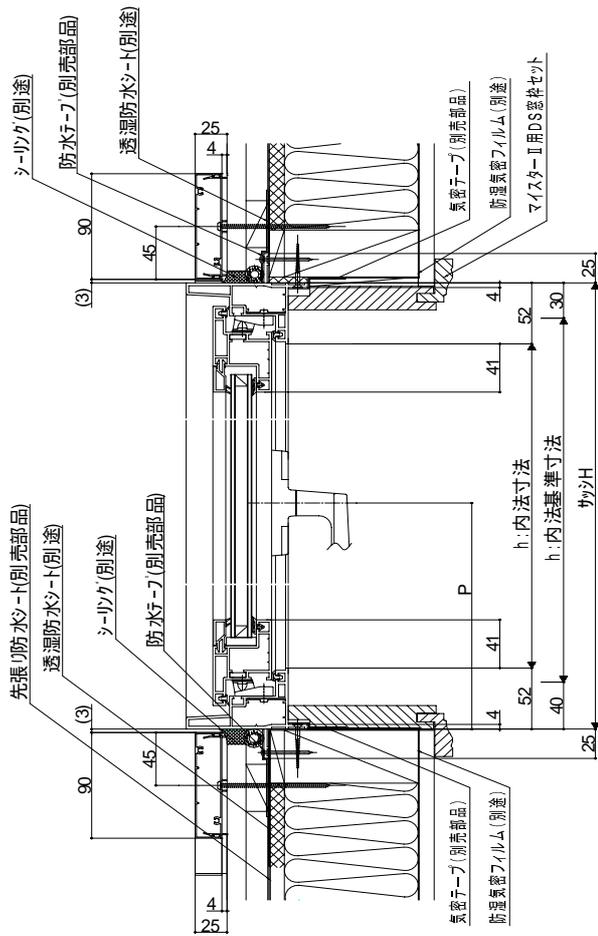


~ の手順を繰返し、下図の順に取付けていく。



取付け手順をお守り下さい。
フタとカバー材がねじ止め出来なくなります。

5. 参考納まり図



姿図

マイスター 縦入り窓
+
窓モール

